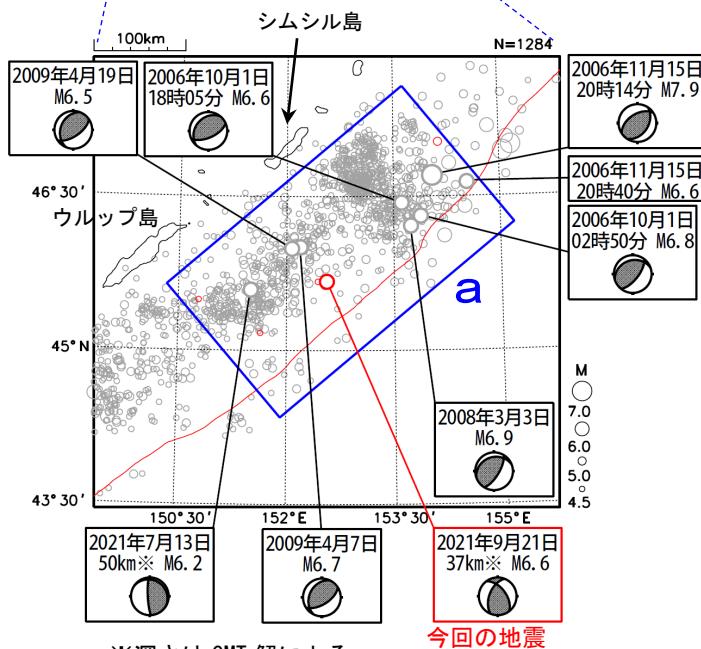
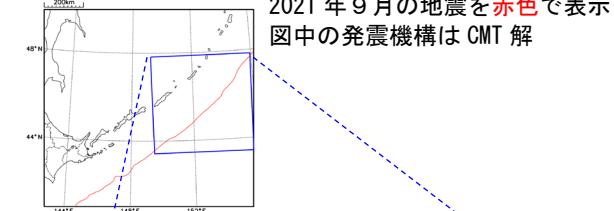


9月21日 千島列島の地震

震央分布図

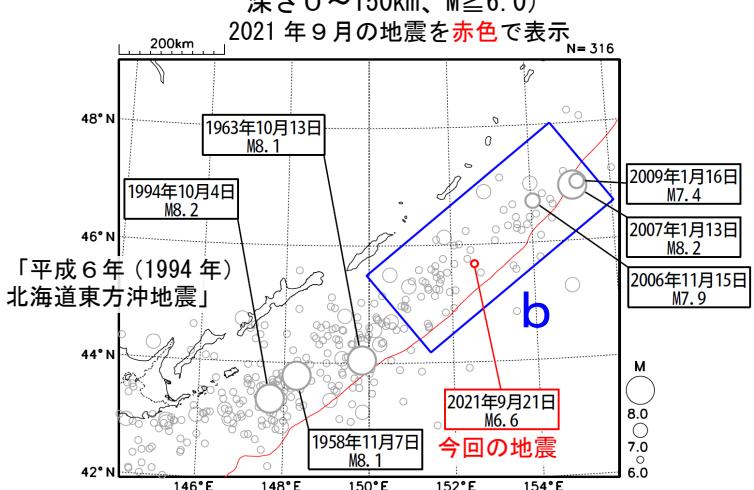
(1997年10月1日～2021年9月30日、
深さ0～100km、M≥4.5)
2021年9月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による
赤色の実線は海溝軸

震央分布図

(1919年1月1日～2021年9月30日、
深さ0～150km、M≥6.0)
2021年9月の地震を赤色で表示



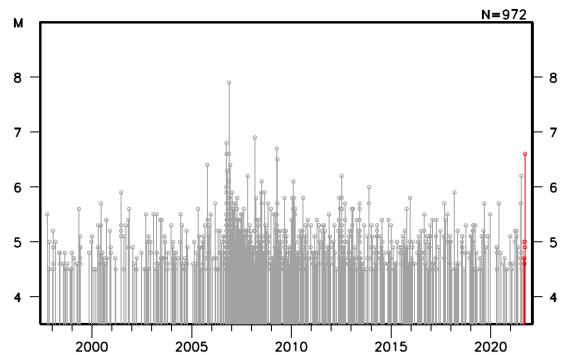
赤色の実線は海溝軸

2021年9月21日05時25分に千島列島の深さ37km(CMT解による)でM6.6の地震(国内で観測された最大の揺れは震度1)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、今回の地震の他にM6.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に発生したM7.9の地震では、日本国内で震度2の揺れを観測したほか、三宅島坪田で84cmなど、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。2007年1月13日の千島列島東方(シムシル島東方沖)の地震(M8.2)では、三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。

領域a内のM-T図



領域b内のM-T図

